八　幡　小　だ　よ　り

北九州市立八幡小学校
校長　田頭 麗宏

いわし雲 大いなる瀬を さかのぼる　飯田 蛇笏

９月下旬以来、最高気温が３０℃を超える日がほとんどなくなりましたが、まだまだ残暑は続いています。近年の気候からすると、２５℃以上が「夏日」とされていることがピンと来ません。しかし、空を見ると、確かに秋の雲が見られるようになってきました。この句を読むと、２年生国語科の教科書にある「スイミー」が思い起こされます。

さて、１０月は、学校のカレンダー（４月～３月）で１年の折り返しとなります。卒業や進級という半年後のゴールに向け、子どもたちの確実な成長につながる教育活動に取り組んでまいります。今月は、全校児童に関わる学校行事である学習発表会が、２０日（１・３・５年生）と２１日（２・４・６年生）に予定されています。新型コロナウイルス感染症の新規感染者は着実に減少していますが、以前のように体育館いっぱいにご観覧の方を入れることはできません。そこで、学年ごとの開催となりますが、目標に向けて取り組むという経験を通して、子どもたちのさらなる成長がなされることを期待しています。

２日間の停電対応へのご理解・ご支援に感謝いたします

『天災は忘れた頃にやってくる』という有名な言葉がありますが、台風が去って少し安心していたところに起きたのが先週の停電でした。当初、地区停電ということでしたが本校だけが復旧せず、大掛かりな補修が必要なトラブルということが判明しました。資材の確保次第では、週末までかかる可能性もあると言われました。

復旧しないとわかると、薄暗い中、すぐに子どもたちを隣の中央中学校に受け入れていただき、状況に応じた学習を行いました。また、暗くて異物等の確認ができない食材を除いて調理が可能と分かり、給食を提供しました。しかし、最も困ったのは電話やインターネットが通じないため、外部と連絡が取りにくくなってしまったことです。そのことで、保護者の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。その後、教育委員会から携帯電話とモバイルルーターを借り受け、また、中央中学校運動場から延長コードで電源を引き込むなどして対応しました。

↑電源の引き込み

↑中学校武道場での学習

↑中学校図書室での学習

↑レトルト非常食を交えた給食

下校グループ『みどりー①』

一日だけ工事で通学路が「ズレ」ます

中央中学校と高炉台球場の間の路上に球場の照明施設があります。２年前に落下物が見つかり防護工事をしたのですが、補修が必要になったそうです。工事は一日で終わりますが、下校の時間にかかる可能性があります。

今回は隣の球場の中に「迂回路」を設けるので通学路を大幅に変更する必要はありません。また、誘導員も配置されるとのことです。

１０月５日（水）９：００～１５：００

⇓ケーブルを校舎に引き込む工事

⇓校内の受電施設の補修工事

幸いにも資材が調達でき、この停電は２日間で復旧しました。子どもたちのがんばりと、保護者の皆様のご支援に、心から感謝いたします。